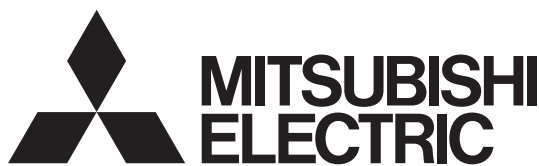


保管用

ライトユニット質量
約1.3kg

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきありがとうございました。

本器具は壁スイッチ動作等により、点灯モードが定格モードと節電モード(約70%)に切替が可能です。

三菱 LED 照明器具 [段調光形 (100%,70%)]

LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズ 防雨・防湿形 40形 ライトユニット

ライトユニット形名 EL-LUW47043 (N,L) AHTN

ライトユニット形名の()内は光色を示します。
下表の器具本体と組合せてご使用ください。

	適合本体	器具本体	非常灯
直付形	逆富士タイプ150幅	EL-LHWV41500	EL-LH-WVH41500 ※1
	逆富士タイプ230幅	EL-LHWV42300	EL-LH-WVH42300 ※1
	トラフタイプ	EL-LHWL40700	EL-LH-WLH40700 ※1
	笠付タイプ	EL-LHWH41500	EL-LH-WHH41500 ※1

HACCP	直付形	適合本体	器具本体
		アクリルカバー 防湿形	EL-LH-WRC42200

※1: N色のみ。

取扱説明書

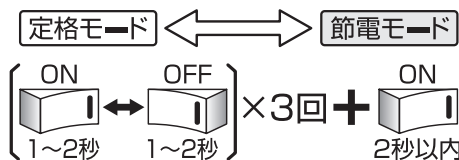
ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、「据付工事説明書」と共に大切に保管し、必要なときにお役立てください。

- 施工方法は、器具本体同梱の「据付工事説明書」を参照してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- 電源周波数50Hz、60Hz共用形です。日本全国どこでも使用できます。

点灯モードの切り替え

<定格・節電モードの切替>

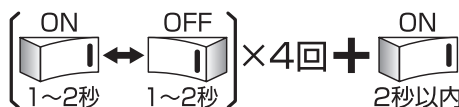
- 壁スイッチ操作により、点灯モード(定格モード・節電モード)の切替が可能です。
- 出荷時は定格モードに設定されています。
- 消灯しても消灯前の点灯モードで記憶しています。



- 定格モード切替
:約5秒の間に明るさが1回変化します。
- 節電モード切替(約70%)
:約5秒の間に明るさが2回変化します。

<リセット操作>

- 器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により定格モードリセットを実施してください。
※いずれの点灯モードからも定格モードへリセットされます。



- 明るさが1回変化すればリセット完了となります。


形名	定格	定格電圧	入力電流 (A)			消費電力 (W)			段調光 (70%) 消費電力 (W)		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-LUW47043 シリーズ	AHTN	AC100 - 242V	0.452	0.222	0.186	44.1	43.0	43.0	29.8	29.3	29.3


組合せの特性及び組合せ形名については、各組合せ形名納入仕様書を参照ください。


安全のために必ずお守りください



図記号の意味は次のとおりです。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、**△警告**、**△注意**の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

 絶対に行わないでください。

 必ず指示に従って行ってください。

	警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)
	器具を布や紙などで覆わない。 (可燃物を被せて使用すると火災の原因)
	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

	注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)
	光を直視しない。 (長時間直視すると目を痛める原因)
	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

器具の取扱い

- 受信電波が弱い場合には、AM及び短波放送では雑音が入る場合があります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。
(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。)
- 放送設備などの音声信号や映像信号は、微弱なため電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
LED光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。
- 防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検をお受けください。


お手入れ


<器具>

器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないと、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバー>

カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

 **警告** 電源スイッチを切ってから行う。
(感電の原因)

 **注意** 点灯中および消灯直後の器具には触らない。
(高温のためやけどの原因)

保証について

<無償修理> 照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。


<無償提供> LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

お知らせ

- 周囲環境・温度・湿度によってカバー内部に結露が発生する場合がありますが、この結露が品質に影響を与えることはありません。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線(同時通訳システム)及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。

- LED素子にはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
- 点灯・消灯時にカバー・反射板の収縮や膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- LED光源の交換はできません。
交換の際はライトユニットごと交換してください。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。

異常時の処置

 **警告** 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
(火災・感電の原因)
煙が出なくなったことを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル
0120-348-027 (無料)
受付時間 9時~17時(土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

お願い

・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。

お知らせ

- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ・周囲環境・温度・湿度によってカバー内部に結露が発生する場合がありますが、この結露が品質に影響を与えることはありません。
- ・電源事情の悪い場所では、LEDがちらつく場合があります。
- ・バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- ・非常用LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- ・一度常用電源を通電しないと、非常点灯しません。
- ・蓄電池を接続しない状態で、商用電源をON/OFFすると、非常用光源が一瞬点灯することがありますが、故障ではありません。
- ・LED素子にはバラツキがあるため、同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・ライトユニットが点灯した状態で、点検スイッチを押して非常点灯に切替える場合は、ライトユニットは消灯しません。
- ・商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- ・点灯または消灯後にピシッピシと音がする場合があります。材料または部品の伸縮により起こる摩擦音で、器具の異常ではありません。
- ・誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線(同時通訳システム)及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。
100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

お手入れ

<器具>
器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないと、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<レンズ>
レンズはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

警告 電源スイッチを切ってから行う
(感電の原因)

注意 点灯中および消灯直後の器具には触らない
(高温のためやけどの原因)

保証とアフターサービス

- ・無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
- ・無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。
- ※蓄電池は消耗品のため対象外です。
- ※1日20時間以上点灯する常用光源部については、保証期間を半分の期限とさせていただきます。
- ※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

異常時の処置

警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記の連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

☎相談窓口 照明技術相談センター
0120-348-027(無料)
受付時間 9時~17時(土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

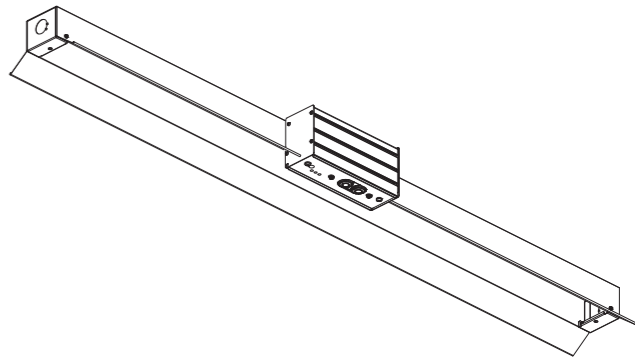
お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。



販売店・工事店様用

三菱LED非常用照明器具・階段通路誘導灯兼用形 [蓄電池内蔵形]

形名
EL-LH-WHH41500 (笠付タイプ 40形 高出力)



LEDライトユニット形ベースライト
Myシリーズ 防雨・防湿形 直付形

当社製 My シリーズ 防雨・防湿形ライトユニットとの組み合わせで性能を満足します。

据付工事説明書 取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございました。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

工事店様へ
工事終了後、この説明書を必ずお客様へお渡しください。

もくじ

- 施工者さまへ 安全のために必ず守ること… 2
- 施工者さまへ お願い… 2
- 施工者さまへ お知らせ… 3
- 使用部品… 3
- 各部のなまえ… 3
- 据付場所の選定… 4
- 取付方法… 5
- 個別制御方式自動点検機能(非常用照明器具用)の使用… 8
- 安全のために必ず守ること<蓄電池について>… 9
- お客さまへ 安全のために必ず守ること… 10
- お手入れ… 11
- 定期点検… 11
- 蓄電池の交換… 11
- お客さまへ お願い… 12
- お客さまへ お知らせ… 12
- 保証とアフターサービス… 12

施工者さまへ

・施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
 ・取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

注意 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

図記号の意味は次のとおりです。

禁止 絶対に行わないでください。

厳守 必ず指示に従って行ってください。

警告

禁止	傾斜天井や補強のない天井には取付けない (落下・火災の原因)	禁止	粉じん、機械工場などの油煙のある場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所、振動・衝撃のある場所、浴室やプール、常時風の当たる場所、風速60m/sを超える強風の吹くおそれのある場所で使用しない(落下・感電・火災の原因)
	軒下など雨の吹き込むおそれのある場所(雨線内)で使用できますが、屋外や風の強い場所では使用しない。また、背面より水がかかる場所には取付けない(落下・感電・火災の原因)		ライトユニット単体及び器具本体単体で使用しない(落下・感電・火災の原因)
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない (絶縁不良により感電・火災の原因)	厳守	低温(5℃未満)、高温(35℃を超える)の環境で使用しない(落下・感電・火災の原因)
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない (絶縁破壊により感電・火災の原因)		施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う (施工不備により、落下・感電・火災の原因)
	引火する危険のある雰囲気(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所)で使用しない(火災の原因)		D種(第3種)接地工事を確実にを行う (接続不備は感電の原因)
	狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない (過熱による火災の原因)		必ず当社のMyシリーズ専用器具本体と防雨・防湿形ライトユニットとの組み合わせで使用 (落下・感電・火災の原因)

注意

禁止	天井直付専用、防雨・防湿形器具です (指定方向以外の取付けは、落下・火災の原因)	禁止	送り配線は非常用照明器具専用とすること (感電・火災の原因)
	吊り具による吊下げ取付けはしない (変形・落下の原因)		沿岸地帯など塩害を受ける場所、常に風雨にさらされる場所では使用しない(落下・火災の原因)
禁止	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない(絶縁不良やさびにより落下・感電の原因)	厳守	直射日光の当たる場所で使用しない (変色・変形・火災の原因)
	本体・蓄電池を確実に取付ける (取付けが不完全の場合、落下の原因)		長時間器具を使用しないときは、蓄電池を外す (やけど・火災の原因)
	表示された電源電圧以外では使用しない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります(感電・火災の原因)		周囲温度は、5~35℃以内で使用する (蓄電池の劣化・火災及び非常時に点灯しない原因)

階段通路誘導灯として使用する場合は、常時、連続点灯とし以下の内容に従う

- ・配線図 A の配線の途中には絶対にスイッチを設けないでください。
- ・調光ユニットはご使用できません。
- ・配線図 B を使用し消灯する場合は、事前に所轄消防署の了解を得て、誘導灯信号装置を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてご使用ください。

〔配線図〕 A. 単相2線式(2線引) (常時にライトユニットを消灯しない場合) B. 単相2線式(3線引) (常時にライトユニットを消灯する場合の例)

赤 黒 白 器具

注意

厳守 明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う(落下・感電・発火の原因)
 不具合があったら、そのまま使用しないで工事店または電器店に修理を依頼する。

- ・照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。
- ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、感電・発煙・発火などに至る恐れがあります。

定期点検

- ・3ヶ月に1回、破損・変形などの外観点検をおすすめします。
- ・6ヶ月に1回、外観点検と機能点検[非常点灯持続時間と切替動作]を併せて行ってください。点検については[建築基準法施行規則第6条・消防庁告示第9号と第14号]に定められていますので、必ず実施してください。
- ・24(48)時間以上充電後、非常点灯持続時間が20(30)分以下となったら蓄電池を交換してください。
 ()内の数値は非常用照明器具の場合
- ・消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

点検チェック票

設置年月日 年 月 日

設置場所

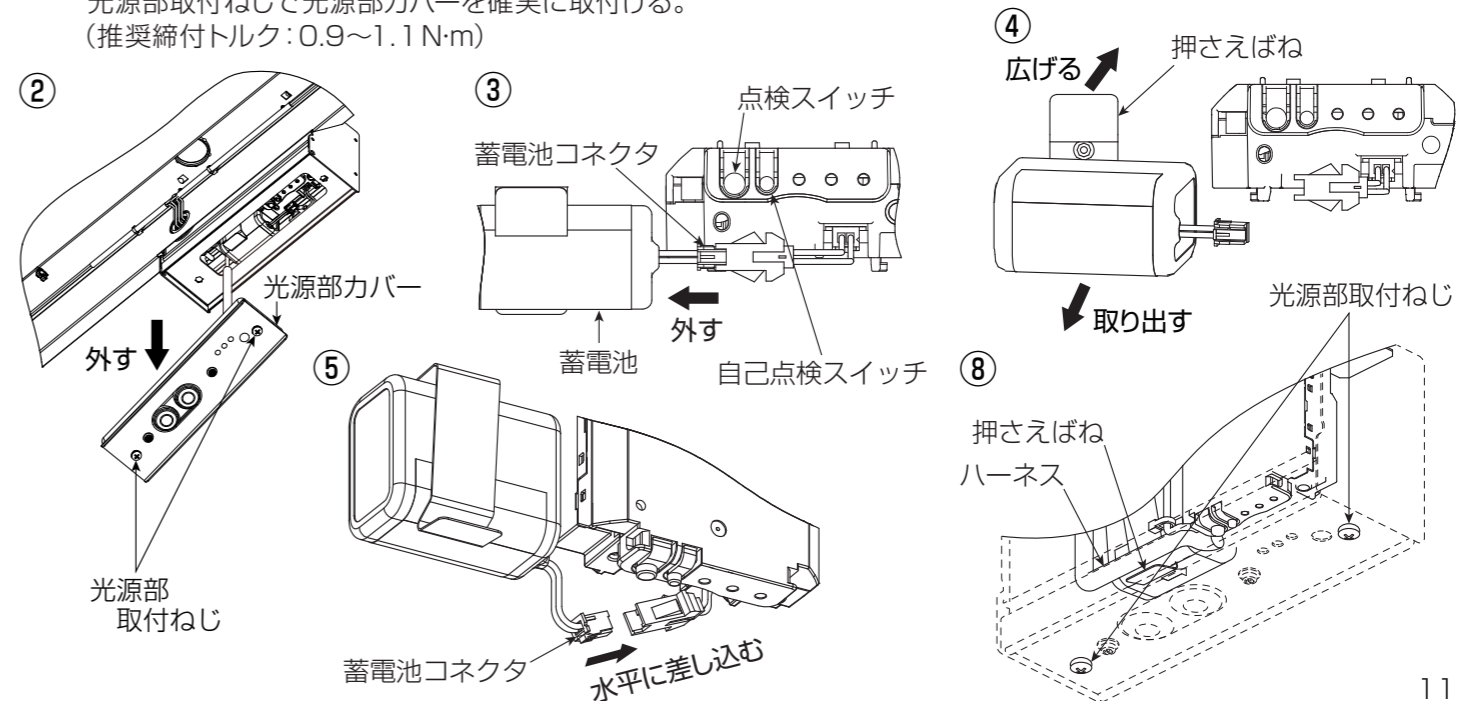
点検年月日	点検内容			点検者
	外観	切替動作	非常点灯持続時間	

蓄電池の交換

- ① 電源を切る。
- ② 光源部取付ねじ(2ヶ所)をゆるめ、光源部カバーを外す。
- ③ 蓄電池コネクタを外す。
- ④ 押さえばねを広げ、蓄電池を取り出す。
- ⑤ 逆の手順で、新しい蓄電池を下図と同じ向きで取付ける。
- ⑥ 電源を通电する。
- ⑦ 点検スイッチを押して非常点灯を確認する。
- ⑧ ハーネスを押さえばねの外側に収め、ハーネスを挟み込まないように注意して、光源部カバーをもとの位置へ戻し、光源部取付ねじで光源部カバーを確実に取付ける。
 (推奨締付トルク: 0.9~1.1 N・m)

警告

- ・電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)
- ・蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。また、火中に入れない(やけど・衣類損傷の原因)
- ・配線をカバーで挟み込まない(落下・感電・火災のおそれあり)



保守に関するお願い

- 器具の点検及び蓄電池の交換を考慮、点検保守が行いにくい場所〔足場のない高所・狭所等〕では、点検保守を考慮した取付けをしてください。
- 蓄電池は4～6年が交換の目安です。
目安の期間ご使用いただくためには、定期点検による十分な放電の機会〔6ヶ月に1回の定期点検〕が必要です。定期点検による20(30)分以上の点検〔放電〕が行われないと、非常点灯時間が極端に短くなる恐れがあります〔低温環境では特に顕著に表れます〕。
()の数値は非常用照明器具の場合
- 過度〔1～2ヶ月に1回程度〕に機能点検〔非常点灯〕を繰り返すと、蓄電池が劣化する場合があります。
- 電源を通電しないまま蓄電池を器具に接続して放置すると、過放電状態になり蓄電池が短寿命となることがあります。長期間使用しないときは、蓄電池を器具から外して保管してください。
- 蓄電池は、ご使用前に24時間以上〔非常用照明器具は48時間以上〕充電してください。
- 24(48)時間以上充電後、非常点灯持続時間が20(30)分以下となったら蓄電池を交換してください。
()の数値は非常用照明器具の場合
- 蓄電池の寿命は、周囲の温度・非常点灯の時間・回数など使用する環境や条件によって異なります。
- 蓄電池の交換は必ず適合蓄電池を使用してください。器具銘板に記載された蓄電池以外は使用しないでください。

適合蓄電池

7H15DB



この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、回収拠点へお持ち込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

注意 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。

必ず指示に従って行ってください。

警告

- 禁止** お客さま自身で電気工事はしない
(感電・火災の原因) 電気工事士の資格が必要です
- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない
(感電・火災の原因)
- 改造や指定部品以外の交換はしない
(落下・感電・火災の原因)
- 蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。
また、火中に入れない(やけどや衣類損傷の原因)

- 厳守** 器具の清掃・蓄電池の交換は電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)
- 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る(感電・火災の原因)
- 必ず当社のMyシリーズ専用器具本体と防雨・防湿形ライトユニットの組み合わせで使用する(落下・感電・火災の原因)

注意

- 禁止** 光を直視しない
(長時間直視すると目を痛める原因)
- ライトユニットに塗料などを塗らない
(ライトユニットが過熱・破損してけがの原因)
- 点灯中及び消灯直後の器具には触らない
(高温のため、やけどの原因)
- 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない(過熱して火災の原因)

- 禁止** ライトユニットを落としたり、〔物を〕ぶついたり、無理な力を加えない
(ライトユニットが破損してけがの原因)
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池を外す
(やけど・火災の原因)
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用する
(蓄電池の劣化・火災及び非常時に点灯しない原因)
- レンズはガラス製のため、取扱いに注意する
(割れたとき、けがの原因)

お願い

- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
- 天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。隙間の原因となります。
- 内蔵蓄電池は、ご使用前に24(48)時間以上充電してください。
()内の数値は非常用照明器具の場合

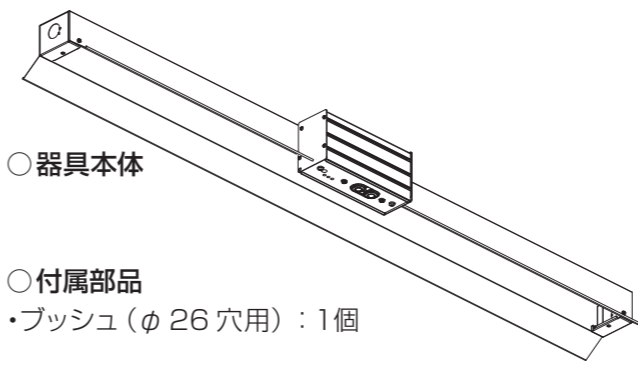
- 電源を通電しないまま、蓄電池をつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組み合わせるとちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
- 防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。

お知らせ

- 5℃未満の低温または35℃を超える高温で使用した場合、蓄電池が放電できず、非常点灯できなくなったり、点灯時間が短くなります。また、液が噴き出して蓄電池が劣化する場合があります。
- 消灯スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側へ設置してください。200V電源使用時は、消灯時に微発光する場合がありますが、異常ではありません。

- バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線(同時通訳システム)及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

使用部品



○市販品(別途据付工事者様にて手配ください)

- 取付ボルト(2本)：M10またはW3/8
- 電源線(1本)
- 六角ナット(2本)
- 平座金(2個)
- ばね座金(2個)

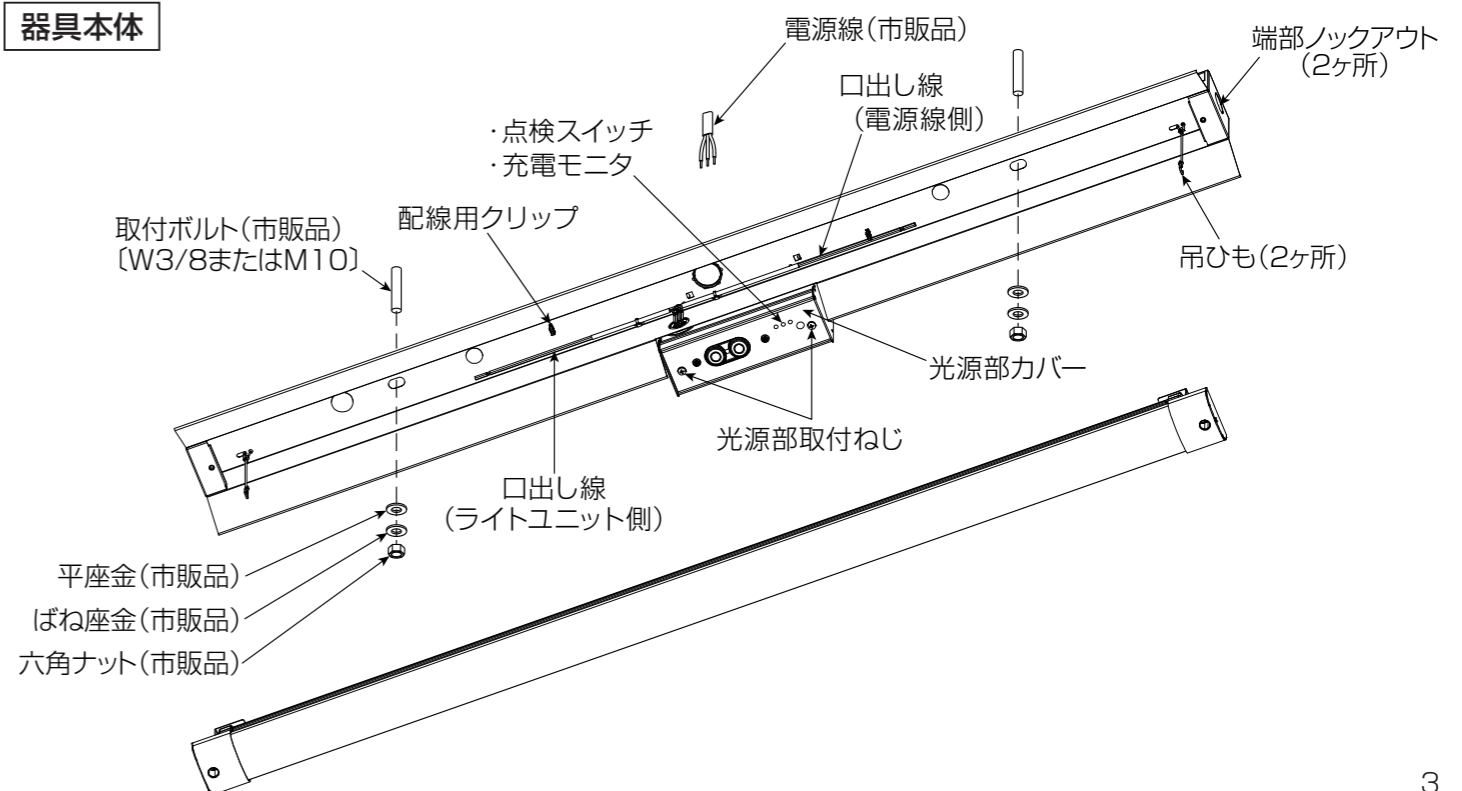
○別売部品

- ・ライトユニット(1個)

※適合ライトユニットについては組合せ形名の納入仕様書をご確認ください。

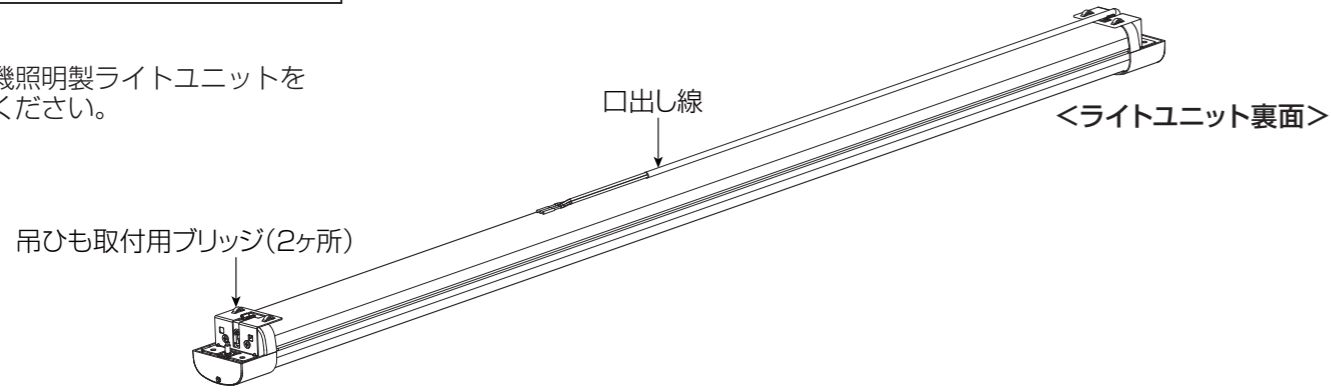
各部のなまえ

器具本体



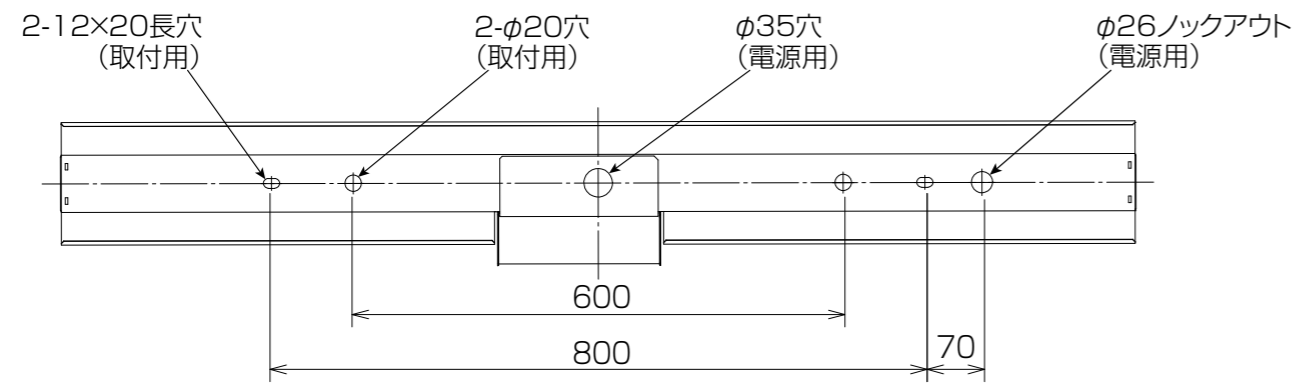
ライトユニット (別売部品 1 個)

三菱電機照明製ライトユニットをご使用ください。

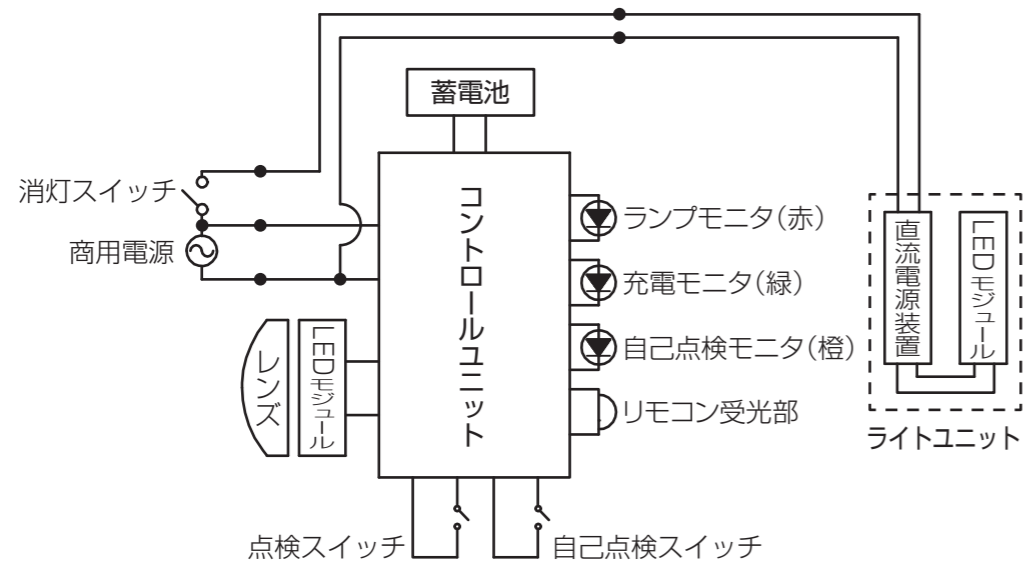


取付穴

(単位 mm)



接続図



器具本体 (非常用回路) 仕様

形名	定格電圧 (V)	周波数 (Hz)	入力電流 (mA)			消費電力 (W)		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-LH-WHH41500	AC100 - 242	50/60	15.2	8.6	7.7	1.5	1.6	1.7

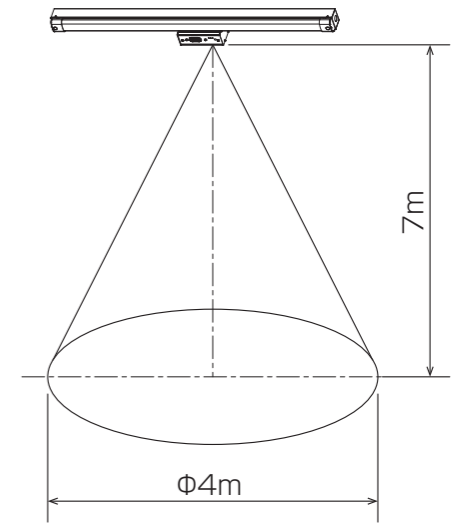
ライトユニット組合せ時の特性は、組合せ形名の納入仕様書をご確認ください。

点検用リモコン (別売) について

- 本器具はリモコン点検機能対応器具です。適合リモコンは器具の納入仕様書をご確認ください。
- リモコンの操作についてはリモコンの取扱説明書をご確認ください。
- リモコンの操作範囲は、下記の通りです。

リモコンの操作範囲

- リモコン操作は、器具の真下から行ってください。



安全のために必ず守ること <蓄電池について>

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

- 警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
- 注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

図記号の意味は次のとおりです。

- 絶対に行わないでください。
- 必ず指示に従って行ってください。

警告

- 蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。また、火中に入れない (やけど・衣類損傷の原因)

注意

- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池を外す (蓄電池の劣化・火災及び非常時に点灯しない原因)
- 周囲温度は、5~35℃以内で使用する (蓄電池の劣化・火災及び非常時に点灯しない原因)

器具の周辺温度が5℃未満の低温または35℃を超える高温で使用した場合、蓄電池が放電できず非常点灯できなくなったり、点灯時間が短くなります。また、液が噴き出して蓄電池が劣化する場合や、蓄電池が極端に短寿命となることがあります。

- (2) 非常点灯しない場合
 - ・電源は通電されていますか。通電せずに蓄電池を接続しても非常点灯しません。
 - ・蓄電池の接続コネクタは接続されていますか。
 - ・蓄電池は24(48)時間以上充電されていますか。()内の数値は非常用照明器具の場合
- (3) 充電モニタ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合
 - ・電源端子台に誤配線していませんか。
 - ・電源は通電されていますか。
 - ・電源電圧は定格通りですか。
 - ・蓄電池の接続コネクタは接続されていますか。

9 ライトユニットの取外し方

- ねじ穴キャップ(2ヶ所)を取外す。
- ライトユニットを手で押えながら、ライトユニット取付ねじ(2ヶ所)をゆるめて、器具本体より取外す。
- 吊ひもを外し、ライトユニットを取外す。

注意 点灯中及び消灯直後の器具本体、ライトユニットに触らない(高温のため、やけどの原因)

個別制御方式自動点検機能〔非常用照明器具用〕(以下自己点検機能という)の使用方法

光源部カバー取外し時

光源部カバー装着時

- 自己点検スイッチ : 3秒長押しで自己点検を開始します。
- 点検スイッチ : スイッチを押している間、非常点灯に切り替えます(ライトユニットは点灯継続)。
- 自己点検モニタ : 自己点検中であること、点検可能・不可をお知らせします。
- ランプモニタ : ランプの異常をお知らせします。
- 充電モニタ : 蓄電池が充電中であること、寿命をお知らせします。
- リモコン受光部 : 別売のリモコンの信号を受ける受光部です。

・自己点検機能を使用する前に以下の項目を確認してください。
 ※確認項目を満足していない場合、自己点検スイッチを操作しても自己点検機能が作動しません。

- ・48時間以上連続充電をしている
 ※充電途中で、点検スイッチを押したり停電等で電源が遮断されてしまった場合、それまでの充電時間がリセットされ、自己点検機能が作動しません。
- ・充電モニタが点灯している(蓄電池が正常に接続・充電されている)
- ・ランプモニタが消灯している(ランプが正常状態である)

自己点検機能操作手順

- 器具本体の自己点検スイッチを3秒以上押しまたは、点検用リモコン(別売)の点検ボタンを押す
- 自己点検開始
- 定格時間(30分)後、自動で通常状態に復帰
- 点検結果を右表(器具モニタ表示)にて確認する

自己点検結果				
器具モニタ表示	自己点検モニタ(橙)	ランプモニタ(赤)	充電モニタ(緑)	
● 点灯	—	ランプの外れ・破損	正常	
☀ 点滅	自己点検中	—	蓄電池の寿命	
○ 消灯	—	正常	蓄電池が充電されていない、または接続されていない	

- ・蓄電池をつながない状態で点検スイッチを押すと充電モニタが点滅します。
 - ・蓄電池容量が不足している場合は定格時間(30分)経過前に点検結果を表示し、通常状態に復帰します。
- ※点検の結果、蓄電池が寿命と判断された場合は速やかに蓄電池を交換してください。

据付場所の選定

- ・器具の点検及び蓄電池の交換が確実にできる場所
- ・天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- ・周囲温度5~35℃以内で使用できる場所
- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所
- ・一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- ・沿岸地帯など塩害を受けない場所
- ・屋外や常に風雨にさらされない場所
- ・空調機器等の排気や温風が当たらない場所
- ・その他納入仕様書に記載された事項が守られた場所

取付方法

1 取付前の確認

- 器具本体質量(右表)、ライトユニット質量の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
 - ・ライトユニット及びオプションの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。
 - ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。
- 取付ボルトの長さは、天井面より15~25mmにする。

形名	器具本体質量
EL-LH-WHH41500	約2.5kg

2 器具本体を取付ける

- 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線、アース線を引き込む。ノックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず付属のブッシュを取付けて使用する。
- 別途手配の耐食性のある平座金、ばね座金、六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは1.0~1.2N・m。

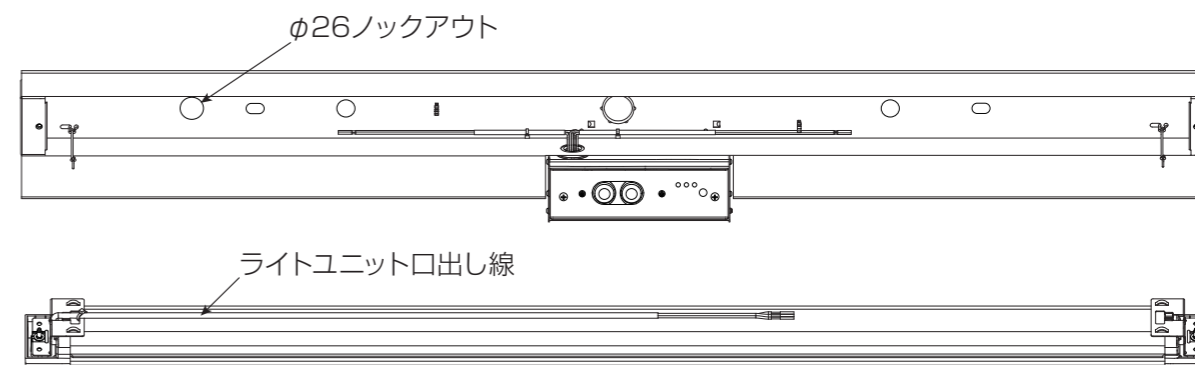
警告 確実に取付けて固定する(火災・感電・落下の原因)

注意 器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する(けがの原因)

お願い
 締付トルクが過ぎると、器具変形、天井面とのすき間の原因となります。

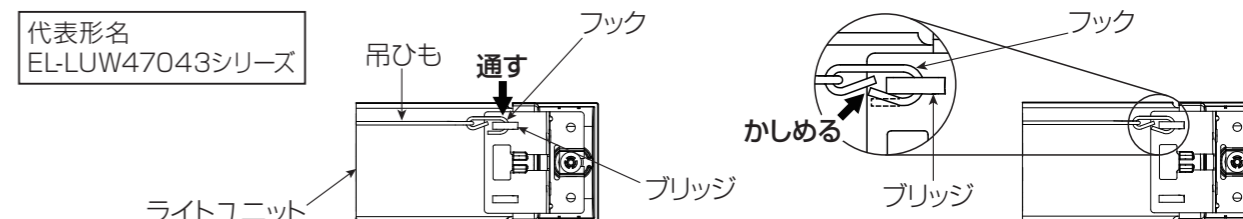
3 ライトユニットを器具本体に仮止めする

- ライトユニットの口出し線を器具本体のφ26ノックアウトの方向に向ける。



- 器具本体の吊ひも(2ヶ所)のフックをライトユニットのブリッジに通す。
- フックの先端をかしめる。

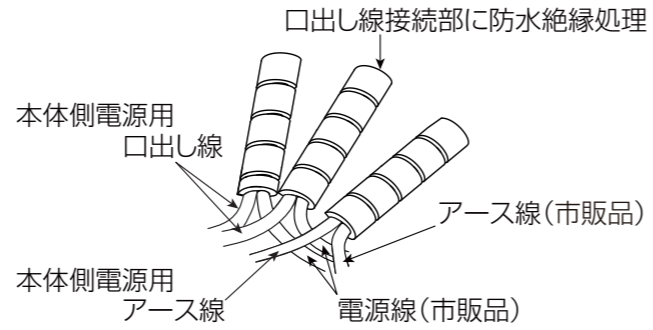
注意 フックの先端は確実にかしめる(落下の原因)



4 器具本体の口出し線に、電源線・アース線を接続する

- 口出し線長さ : 器具外 0.15m以上
- 口出し線の線種 : 105℃耐熱ビニル電線
- 電源入力線の線径 : より線 0.75mm² (白・黒・赤)
- アース線の線径 : より線 1.25mm² (緑/黄)

- 電気設備の技術基準省令第7条に従い、電源線に口出し線の黒白線を圧着端子、スリーブを用いて確実に接続する。
- アース線(黄色と緑のスパイラル)を使用して、D種(第3種)接地工事を確実に行う。
- 口出し線接続部は自己融着絶縁テープ等で防水絶縁処理を確実に施す。



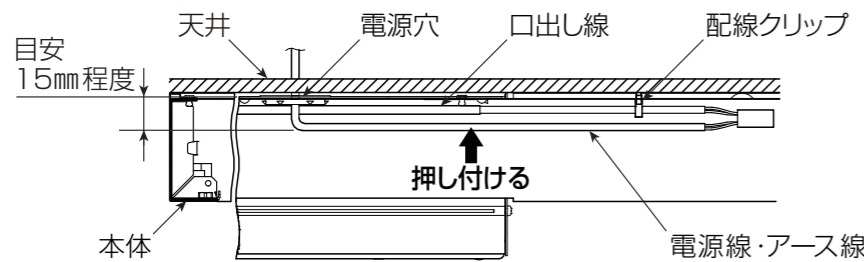
自己融着絶縁テープ等で口出し線接続部を防水絶縁処理した後、防水のため防水絶縁処理した先端を上(天井側)に向ける。



警告

- 接続を確実に(接続不良による発熱により、火災の原因)
- アース工事は電気設備の技術基準に従い(アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因)
- 接続部の防水処理を確実に(絶縁不良による漏電・感電の原因)

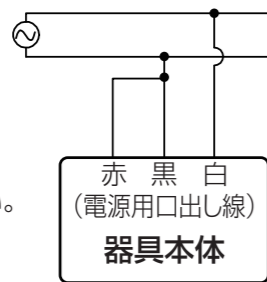
- 器具内で接続する場合は、接続後、余分な電源線・アース線をライトユニットとの当たりを防ぐため電源穴に押し込み、本体側にも押し付ける。



<単相2線2線引き>

- 常時ライトユニットを点灯する場合

- 赤線と黒線を短絡させてください。

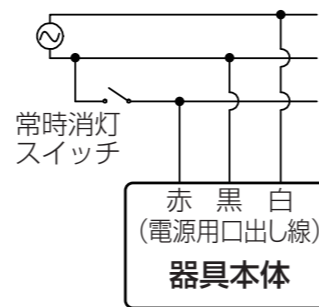


<単相2線3線引き>

- 常時ライトユニットを消灯する場合

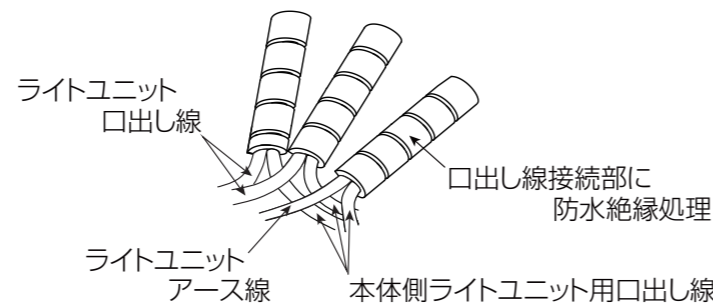
お願い

- 誘導灯として使用する場合は、常時、連続点灯してください。
- この配線図を使用する場合は、事前に所轄消防署の了承を得て誘導灯信号装置を用い、自動火災報知器設備の動作と連動させて使用してください。



5 器具本体とライトユニットの口出し線・アース線を接続する

- 電気設備の技術基準省令第7条に従い、電源線に口出し線の黒白線を圧着端子、スリーブを用いて確実に接続する。
- アース線(黄色と緑のスパイラル)を使用して、D種(第3種)接地工事を確実に行う。
- 口出し線接続部は自己融着絶縁テープ等で防水絶縁処理を確実に施す。
- ライトユニット側の口出し線を器具本体の配線クリップに引っ掛ける。



自己融着絶縁テープ等で口出し線接続部を防水絶縁処理した後、防水のため防水絶縁処理した先端を上(天井側)に向ける。



警告

- 接続を確実に(接続不良による発熱により、火災の原因)
- アース工事は電気設備の技術基準に従い(アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因)
- 接続部の防水処理を確実に(絶縁不良による漏電・感電の原因)

6 ライトユニットを取付ける

- ライトユニットを手で器具本体に押し当て、ライトユニット取付ねじを確実に締め付ける。(推奨締付トルク: 3 N·m)
- ライトユニット同梱のねじ穴キャップを取付ける。



警告

- 電源線、口出し線を挟み込まない(感電・火災の原因)

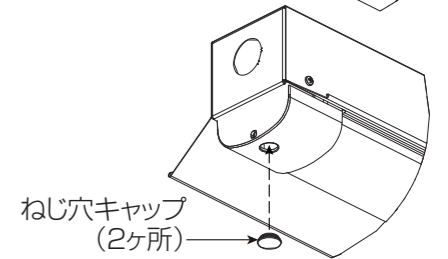
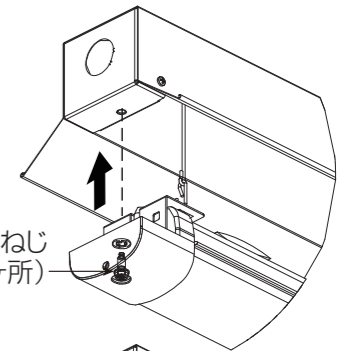


注意

- 器具本体とライトユニットの間に吊ひもを挟まない(落下の原因)
- 器具本体にライトユニットが確実に取付けられていることを確認する(落下の原因)

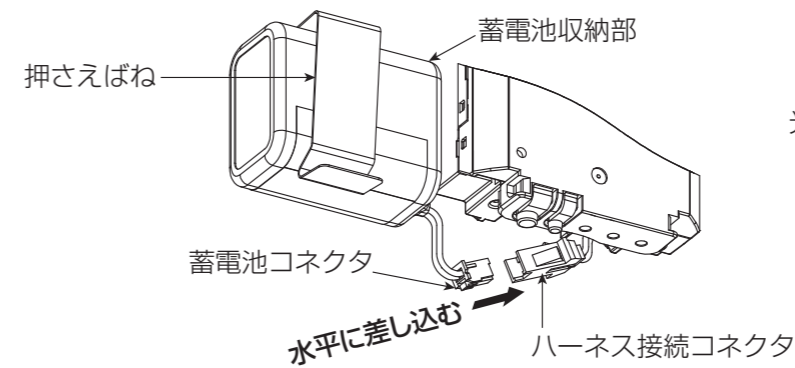
お願い

ねじ穴キャップが仮に外れて落下し、不具合が生じるような場所(食品工場等)では、ねじ穴キャップを取付けないでください。



7 蓄電池を接続する

- 光源部取付ねじ(2ヶ所)をゆるめ、光源部カバーを外す。
- 蓄電池コネクタとハーネス接続コネクタを水平に差し込み接続する。
・非常点灯するには、一度 AC 電源を通電する必要があります。
通電せずに蓄電池を接続しても非常点灯しません。

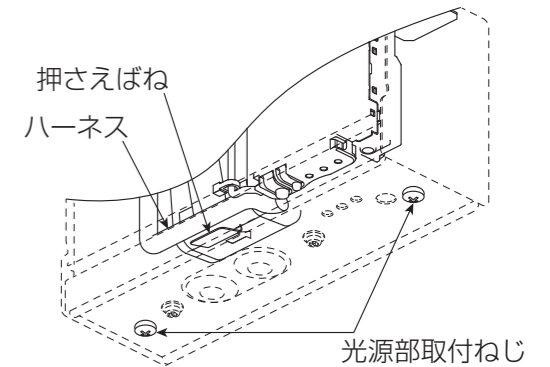
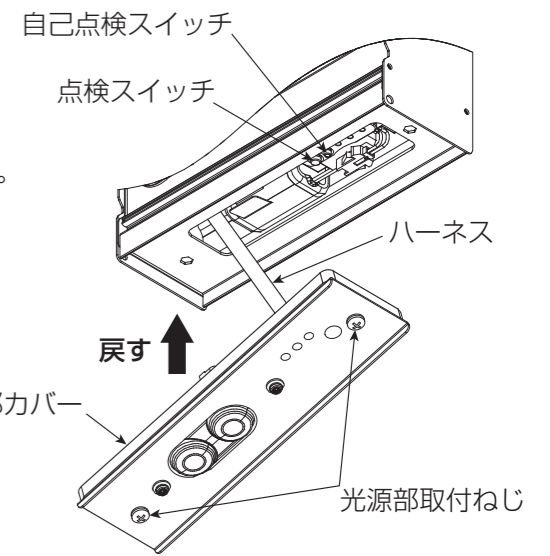


- 電源を通電して充電モニタ(緑色の表示ランプ)の点灯を確認し、点検スイッチを押して非常点灯を確認する。
- ハーネスを押さえばねの外側に収め、ハーネスを挟み込まないように注意して、光源部カバーをもとの位置へ戻す。
- 光源部取付ねじで光源部カバーを確実に取付ける。(推奨締付トルク: 0.9 ~ 1.1 N·m)



警告

- 蓄電池を確実に接続する(接続が不十分な場合、火災・感電の原因)
- コネクタは水平に差し込む(斜めに差し込んだ場合、コネクタ破損の原因)
- カバーで配線を挟み込まない(落下・感電・火災の原因)



8 点灯を確認する

点灯しない場合は、下記項目をチェックしてください。

- 通常点灯しない場合
 - ライトユニットの口出し線は正しく接続されていますか。
 - 電源電圧は定格通りですか。